

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	インターンシップinシンガポール
-----	------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 37000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	11200 円	Au 海外放題
現地通学費	約 820 円	(研修先まで 10～30 分)交通費は支給される。
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	22711 円	ワークパスの費用
その他	約 48000 円	例:お土産、オフの日の交通費など
合計	119731 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:現地の空港で二万円両替した。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
シンガポールでは、たいいていの場所でクレジットカードが使えるので、あまり現金を使う機会がない。屋台は現金しか使えないと聞いていたが、実際はカードが使えるところが多く、現金二万円を使い切るのは大変だった。
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
普段auを使っているのので、au海外放題を利用した。動きが悪い時がたまにあったが、概ね不自由なく使えた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
同じ部屋の人が熱を出したため、体温計とベンザブロック、予備のマスクを貸すことができた。生理用ナプキンと生理痛の薬は持って行ってよかった。空間用の蚊がいなくなるスプレーや虫よけスプレーを持っていったため、蚊に刺されなかった。ホテルの洗濯機がお金がかかるので、ジップロックと洗剤を持参し手洗した。事前にコロナワクチンは打って行ったが、現地ではインフルエンザ A が流行っていたのは盲点だったので、現地で何がいつ流行るのかは知っておいた方がいい。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:USS のチケット盗用、同じ班の人のインフル A 発症、同室の人の発熱、親や上司に相談) 特記事項:USS のチケットを現地の券売機で当日買ったが、盗用された可能性があると言われ入れず、チケットを買い直した。チケットは購入後すぐにしまったため、なぜ入れなかったのか分からなかった。同じ班の人がインフルを発症したが、隔離されていたため誰もうつらなかった。同室の人も発熱したが、インフルもコロナも陰性だった。私はすぐにほかの部屋に移動したためうつらなかった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前にシンガポール旅行についての YouTube を見て、気を付けるべきことや持っていくと良いものについて確認した。海外用のウエストポーチを購入し、そこにパスポートとクレジットカードなど貴重品を入れて肌身離さず行動した。予備のクレジットカードやパスポートのコピーはリュックに入れていた。スーツケースはチャック式でないものを購入した。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なし。現地の携帯電話番号を用意しなかったが、概ね問題なかった。ワークパスを取得する際に現地電話番号が必要だったが、上司の番号でもいと言われたためそれを使った。chageeというお店でオンライン注文する際 SMS が届かず注文できなかったが、店舗を変えたところ店頭注文できたため大丈夫だった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
--------------	---------

☐ 寮・アパート	☐ ホームステイ	☒ ホテル	☐ 個室	☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分				
☐ バス	☐ トイレ	☐ キッチン(	☐ 自炊可	☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
滞在したホテルラベンダーは立地が良く、周りに飲食店も多いため便利だった。毎日清掃が入り、タオルも毎日変えてもらえる。湿度が高く、洗濯物がなかなか乾かなかった。洗濯機に5ドル、乾燥機に5ドル、洗剤に1ドルかかるので、洗濯にお金をかけたくない場合は自分で洗剤などを持っていくと良い。朝食もおいしかった。				

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	
私は今まで海外に行ったことがなく、飛行機にもほとんど乗ったことがなかった。大学生のうちに一度海外での生活を体験し、視野を広げたかった。英語圏での生活を体験し、自分の英語力や適応力を知りたかった。観光業界に興味があったため、JTB では実際にどのような仕事が行われているのか知りたかった。	
2)参加するにあたっての目標はありますか。	
グループワークや準備など、人任せにすることなく積極的にチームに貢献できるようにする。常に自分に何ができるのかを考えて行動する。英語で話すことへの苦手意識をなくし、現地の店員や社員の方とコミュニケーションがとれるようになる。	
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	
地域を活性化させることや街づくりに興味があり、観光業界や不動産業界、鉄道業界に興味があった。公務員にも興味があった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	
JTB のシンガポール支店で実習を行った。	
2) 主要な実習内容を記載してください。	
班ごとに、若者が好きそうな場所に足を運んで動画を撮り、それを編集して若者向けの観光プロモーションビデオを作成する。シティギャラリーの展示に関するワークシートの改善点を話し合い、班ごとに新たなワークシートを作成する。NATAS Travel Fair において、お客さんにチラシやバッグを配る。若者向けのオプションツアーの企画を考える。	
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	
旅行会社は、旅程を組んだり、旅行の手配をしたりするという仕事しか想像できなかったが、ワークシート作成やオプションツアーの企画を通して、自社の製品にどのように付加価値をつけるかなど、競合他社の存在を強く意識した仕事が行われていることを知った。著作権を考慮する重要性は理解していたつもりだったが、同じ建造物でも昼と夜で著作権に引っかかるかどうかが変わるなど、想像よりも厳しい規定があることを知った。	
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	
ほとんどの業務は班ごとに分かれて行ったため自由度が高く、より自主性が高められたと思う。NATAS では、ツアーについての説明をお客さんにするのが仕事だと思っていたが、実際はチラシを折ったり配ったりするのが仕事で、負担は軽かったが現地の人と話せる機会は想像より少なかった。MOM でワークパスをとるのが、一番現地の人と多く会話をする機会、実習内容よりも大変に感じた。	
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	
旅行会社の海外支店ではどのような業務が行われているのか、インバウンドとアウトバウンド両方についての理解度を高めることができた。完璧な英語を話すことよりも伝えようとする意識のほうが大切であると学んだ。	



英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC Listening & Reading 830

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

明大生割引でスピークバディを始め、なるべく毎日やるようにした。英会話でよく使われる言い回しやシンガポールでよく使われる言い回しを調べ、覚えた。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

仕事で英語を使ったのは NATAS のときだけで、他の業務は日本語で行った。NATAS では、お客さんと話すとき英語を使ったが、中国語訛りの英語でかなり聞き取りにくかった。ただ、聞かれることはだいたい決まっているので、単語が聞き取れれば全体が聞き取れなくても応えられるようになった。完璧なリスニング力よりも状況把握力のほうがコミュニケーションにおいて重要だと思った。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

NATAS でチラシ配りをしたが、無視する人は少なく、断る際も優しく断ってくれる方が多いと感じた。全体的に日本人よりも愛想がいい人が多いように感じた。シンガポールは日本と異なり店員と客の立場が平等のため、態度が悪い店員も多いと聞いていたが、実際はそんなことはなく、日本と似たような優しい店員が多かった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

シンガポールは、初めての海外にふさわしい国だと感じた。中国語訛りの英語がなかなか聞き取れず、店での注文や MOM で苦労することがあったが、現地の方は怒らず粘り強く接してくれる。シンガポールは、私たちのチャレンジを受け止めてくれる、成長できる環境が整った国と思った。

自主性が重要視される業務が多かったため、渡航前よりも自分の意見を言うことや、自分が班の指揮権を握ることに対して抵抗がなくなった。自分に自信がつき、今後の学校生活にも生かせる発言力や行動力を磨くことができた。

オフの時間も十分に用意されていて、シンガポールの観光名所はほとんどすべてまわることができた。シンガポールでの観光や生活を通して、改めて日本の良い面や悪い面を知る機会になった。

初めての海外で不安だったが、心から行って良かったと感じた。大学生のうちに海外で生活するという貴重な経験ができたことは、人生の財産になった。

シンガポールは治安や衛生が良く、言葉が通じなくても何とかできるので、行くかどうか迷っていたら行った方が良いと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	観光業を海外で学ぶインターンシップ in シンガポール
-----	-----------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	27000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2866 円	
現地通学費	3150 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	17451 円	USS 入場料 11109 円 ナイトサファリ入場料 6342 円等
被服費	0 円	
雑費	約 50000 円	休日の交通費、カフェ、毎日の飲料水(水のペットボトル)等
その他	12500 円	例:お土産
合計	約 90601 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: チャンギ空港到着後、空港の両替所で日本円を両替しました その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどのお店がカード決済対応でした。公共交通機関に関してはカード(クレカや交通系 IC)のみで切符の文化は無かったため、カードがあれば困らないと感じました。偶に現金支払いのみのお店もあったので、5000 円〜1 万円ほど現金を持っておくと安心かもしれません。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Klook の eSIM を使いました。格安で無制限プランを選ぶことができたのでとても助かりましたし、現地でトラブルになることもありませんでした。現地電話番号の付いていないプランでしたが、今回は特に困ったことはありませんでした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本から持ってきたビーチサンダルは大活躍しました。スニーカーだとわざわざ靴下を履かないといけませんし、勤務時のパンプスは靴擦れして痛いですが、ビーチサンダルはとても履きやすいので短時間の外出に快適でした。 シンガポールはとても暑いので日傘や冷却ハンディファンがあればもっと快適だったかもしれません。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前講習の際に、危険地域の把握をしました。スリには大変気をつけました。財布やホテルのカードキーは肌身離さず持っていましたし、店の席を離れる時は必ず一度自分のいた席を振り返って何か忘れていないか、貴重品は自分の鞆の中にあるかを確認しました。実際盗難には巻き込まれませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ネットに上がってるホテルの写真は美化されがちなので、期待すぎない方がいいと思います。 ホテルの朝食会場に関しては、鳩などの鳥が多い時間帯(9:00 以降?)があり、かなり距離感も近いので初めの頃はびっくりするかもしれません。 室内の湿度はかなり高め感じます。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。 来年から本格的に始まる就活におけるインターンシップが予めどのようなものなのか、自分が来年までに改善し、成長していくべき点は何かを明確にするために申し込みました。
2)参加するにあたっての目標はありますか。 多くの発言をしたり、質問を積極的にする。いつも受け身になる傾向があるため、自発的に物事の提案や疑問をオープンにできるようになりたいです。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。 はっきりとは決まっていないものの、旅行代理店やつ出版社、メディア、デベロッパーなど、いずれも人の記憶や思い出に残るような創作をしたいと考えていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。 大手旅行代理店
2) 主要な実習内容を記載してください。 若者向けのプロモーション動画の作成 →シンガポールに行きたいと思わせるショート動画(15 秒)の作成 修学旅行でシンガポールにきた高校生向けのワークシート作成 →元々できているワークシートの改善案をグループで発表し、その改善点を踏まえて作り直す Natas→ピラ配りと誘導 学生向けオプショナルツアーの考案 →自分だったらどこ行きたいか、納得できる価格設定を考える
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。 旅行代理店と言うと、ツアーのタイムスケジュールを考えたりといったイメージが強かったですが、今ではそういった業務はほとんどなくなっていると知りました。業務としては、シンガポールに来る日本人学生に向けたツアーやワークシートを考えたり、シンガポールから日本に来る方への誘導だったため、日本と完全に切り離された仕事ではなく、むしろ、日本での考え方や価値観も大切なキーポイントでした。そのため、あまり「日本との違い」といったものは感じませんでした。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。 良かった点は、初出勤の日に旅行代理店のオフィスのツアーをしていただき、どんな部署があってそれぞれ何をしているのか、どんなことが大変なのかを知ることができたことです。実際に周って、自分の目で確認することができた為、とても学ぶことが多く、旅行業界の仕事のイメージをしっかりと持つことができました。 悪い点は、シンガポールで意外と英語が話せない人が多く、英語力の向上はあまり見込めなかったことです。中国語も話せないため、お客さんの話すことが分からず悔しい思いもしました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。 プロモーション動画の制作には大きく貢献することができたと感じます。グループのみんなで手分けして撮影した動画素材を集め、編集しました。どうしたら動画としての迫力が出て観ている人を飽きさせないのか、どうしたら伝えたい情報を分かりやすく伝えることができるのか考え、制作と編集を行いました。発表した際には、社員の方に高く評価され、やりがいを感じました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

トイック 720

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

トイックの単語帳を 1 日一周は行い、単語力の向上を目指しました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

正直、中国語で話される方がとても多く、むしろ英語を話せない方と出会うことも多かったため、あまり英語を使う機会が無かったことがシンガポールのリアルでした。

英語で話される方は訛りが強かったり文法が崩れていることが多かったため、初めは全く聞き取れませんでした。ジェスチャーや強調して言われている単語だけでも正確に聞き取ろうとする努力でコミュニケーションは円滑に行えます。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地ではどこも店員さんとの距離が近いと感じました。事前学習の際に、シンガポールでは日本と異なりお客さんと店員さんは対等であるという話を聞いてはいましたが、本当にそうだと実感させられることが多々ありました。コンビニの店員さんは初対面のはずなのに、色んなお客さんと友達のように会話や立ち話を楽しんでいました。一方で、ココナッツドリンクのお店ではお客さんが店員さんの声に気づかなかった際に、店員さんが大声で怒鳴り散らすことがありました。日本ではないような光景だったため驚きました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

グループワークをする機会があったので、社会人になった時の自分のグループワークにおける立場のようなものや、苦手な面がよく分かりました。学校で行うグループワークと、会社で働く人間として行うグループワークは大きく異なると思いました。どうしても、沢山良いアイデアを出すメンバーが優れていて、中々いいアイデアが思いつかず、「たしかに！」「なるほど」ばかり言う自分が受け身で劣っているように感じてしまいます。しかし、決してそんなことはないはずです。たしかに沢山良いアイデアが出ることは凄いことだと思いますし、それを目指すのは間違いではありませんが、良いアイデアが出ない時や、上手く発言できない時だって、グループワークに貢献する方法は沢山あると思います。例えば出てきた案をノートや Word ファイルにまとめて、後で共有する準備をしたりなど、いくらでも活躍する場面は沢山あります。失敗や何も踏み出せずに終わることを恐れず、何事もやってみて、自分だったらどんなことができて、どんな形でグループを支えられるか学ぶことはとても大切です。私も今後の学生生活において、グループワークやまた次のインターンシップでは自分だからこその形でのチームワークを発揮していきたいです。